

大変危険です。

子どもの誤飲!!

子どもは「はいはい」や「伝い歩き」をするようになると、手に触れたものを何でも口に入れるようになります。

公益財団法人 日本中毒情報センターの中毒110番への問い合わせは5歳以下の小児、特に**生後6カ月～2歳未満**の乳幼児の誤飲事故が大部分を占めています。

下の絵は誤飲事故の多いものです。このようなものがお子さんの**手**の届くところに放置されていませんか？

たばこ(加熱式含む)



くすり



化粧品



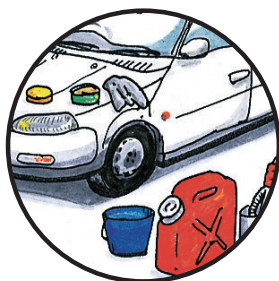
洗剤・洗浄剤、漂白剤



家庭用殺虫剤、防虫剤
(殺虫スプレー、ホウ酸団子など)



危険がいっぱい！



カー用品、灯油



芳香剤、消臭剤



乾燥剤、保冷剤



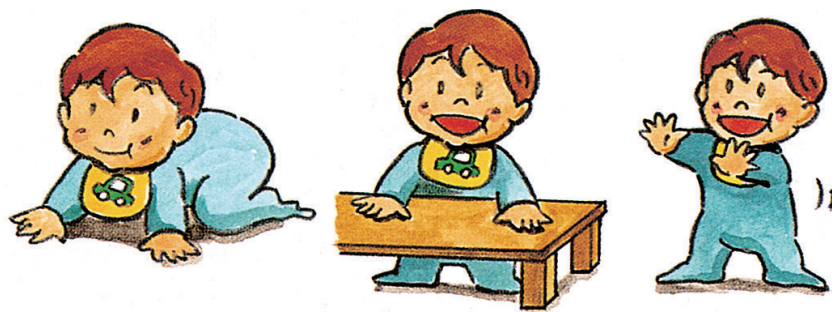
文具、おもちゃ、電池

ストップ!! 子どもの誤飲事故

子どもの誤飲事故は、子どものまわりにいる大人が注意することで防げます。注意するものは、子どもの年齢に応じて変わります。日頃から危険なものを子どもの手の届かない高い所か、鍵のかかる所に保管する心がけが必要です。

●年齢に応じて子どもの目線も変わります。

年齢の目安	注意するもの（後始末や保管管理）
6カ月～12カ月	床や畳など、低い位置のものに注意 たばこや吸殻、床の上のホウ酸団子や液体蚊取り
1歳～2歳	テーブルの高さにあるものにも注意（台に登ることがある） リモコン・玩具・キッチンタイマーの電池 洗面台や流しの下洗剤、ポリタンクの灯油ポンプ 防虫剤、鏡台の化粧品、シャボン玉液などの玩具
3歳～5歳	高い場所にも注意（行動範囲がより広がる） 棚の上の救急箱、引き出しの中のくすり 冷蔵庫の中のシロップ薬、流しの漂白中のコップ



中毒110番 一般専用電話 判断に迷ったら問い合わせを！

*あわてずに誤飲したものを手に持って、お子さんの年齢や体重、誤飲したものの正確な名称、飲んだ量など事故の状況をお伝えください。

大 阪：072-727-2499 (365日 24時間対応) **つくば：029-852-9999** (365日 9～21時対応)

化学物質(たばこ、家庭用品など)、医薬品、動植物の毒などによる中毒事故が実際に起きて、どう対処したらよいか迷った時にご相談ください。応急手当や受診の必要性を薬剤師、獣医師がアドバイスします。

ただし、異物誤飲(プラスチック、石、ビー玉など)や食中毒、慢性の中毒(アルコール中毒、シンナー中毒など)や医薬品の常用量での副作用についての相談には応じていません。

たばこ誤飲事故専用電話 072-726-9922 (365日 24時間対応)
(自動音声応答による情報提供)

*詳しくは、パンフレットまたは日本中毒情報センターwebサイト <https://www.j-poison-ic.jp> の「中毒110番・電話サービス」や「一般の皆さま」をご覧ください。

制作：公益財団法人日本中毒情報センター 協力：一般社団法人日本たばこ協会

